

越知町

(金抜)

令 7 老対委 第2号
高知県 高岡郡越知町 片岡（谷屋敷）
町道谷ノ内線 谷屋敷一号橋修繕工事 設計委託業務 実施設計書

履行日数 120 日

令和 7年 8月 1日 積算単価適用

金抜設計書

設計変更により請負金額を変更する必要がある場合は、
「請負更正金額等の算出方法について（通知）」により、変更
の協議を行うものとする。

特 記 仕 様 書

第1章 総則

第1条 趣旨

- 1 本特記仕様書は、越知町が委託する町道谷ノ内線谷屋敷一号橋修繕工事設計委託業務（以下（本業務）という。）に適用する。
- 2 本業務の一般的な事項は、「高知県土木設計等業務共通仕様書」に基づき実施しなければならない。ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針等は改定された最新のものとする。なお、業務途中で改定された場合はこの限りでない。

第2条 管理技術者・照査技術者

土木関係建設コンサルタント業務（500万円以上）

管理技術者

- 1 次のいずれかに該当する者。
 - (1) 技術士法（昭和58年法律第25号）による技術士とし、次のいずれかの要件を満たす者とする。
 - ア 建設部門で業務に該当する科目とする。
 - イ 総合技術監理部門で業務に該当する科目とする。
 - (2) 社団法人建設コンサルタンツ協会が実施するシビルコンサルティングマネージャ（RCCM）資格試験に合格し、同協会に備える「RCCM登録簿」に登録されている者とし、業務に該当する専門部門とする。
 - (3) 建設コンサルタント登録規程第3条第1号のロの規定により大臣が認定した者とし、業務に該当する専門部門とする。
- 2 管理技術者は、本業務が完了するまで原則として変更できない。病床、死亡、退職等やむを得ない理由により変更する場合は、同等以上の技術力を有する者を配置し、発注者の了承を得なければならない。

照査技術者及び照査の実施

- 1 照査技術者は、管理技術者と同等以上の資格及び技術力を有するものでなければならない。また、照査技術者は、管理技術者と同一の者が兼務することはできない。
- 2 本業務における基本事項の照査は、「詳細設計照査要領」に基づき実施するものとする。又、同要領に基づき作成した資料は設計業務共通仕様書第1107条第5項に規定する照査報告書に含めて提出するものとする。
- 3 詳細設計においては、成果物を取りまとめるにあたって、設計図、設計計算書、

数量計算書等について、それぞれ及び相互（設計図－設計計算書間、設計図－数量計算書間等）の整合を確認するうえで、確認マークをするなどして分かりやすく確認結果を示し、間違いの修正を行うための照査（以下「赤黄チェック」という。）を原則として実施するものとする。

なお、赤黄チェックの資料は、調査職員の請求があった場合は速やかに提示しなければならない。

- 4 照査技術者は、成果物納入時の照査報告の際に、赤黄チェックの根拠となる資料を発注者に提示するものとする。（詳細設計に限る）

第3条 業務対象

- 1 本業務の対象とする橋梁は、下記の橋梁とする。
 - (1) 町道谷ノ内線 谷屋敷一号橋

第4条 関係資料の貸与

- 1 本業務の委託に際しては、関係資料（道路・橋梁台帳等）、過去の点検記録、補修補強記録、建設時の設計図書・地質関係資料、施工記録等と認められるものに限り貸与する。

第5条 履行期間

- 1 契約締結日から120日までとする。

第2章 業務内容

第6条 業務目的

- 1 本業務は、町道谷ノ内線谷屋敷一号橋において、補修工事の積算に必要な数量算定及び図面作成を行うことを目的とする。

第7条 町道谷ノ内線谷屋敷一号橋の業務内容

- 1 設計計画 1 業務

業務の目的・主旨を把握したうえで、業務概要、実施方針、業務工程、業務組織計画、打合せ計画等を記載した業務計画書を作成する。
- 2 損傷個所の確認調査 1 橋
 - (1) 現地踏査

現地の状況を把握（損傷、劣化の程度、現況交通状況、現地調査方法、施工ヤー

特 記 仕 様 書

ド等)する。

(2) 資料収集・整理

既存資料(完成図書、橋梁台帳、道路台帳、橋梁点検調書等)のとりまとめを行う。

(3) 損傷調査

目視等により確認した損傷箇所(ひび割れ、コンクリートの剥離、鉄筋腐食など)について、写真撮影、スケッチなどにより損傷状況を把握する。

(4) 形状寸法測定

既存資料により形状寸法が確認出来ない場合、簡易測量(コンベックス、テープなどを利用)し形状寸法を把握する。

(5) 現況図面の作成

形状寸法測定あるいは、紙成果の寸法値を用いて現況図面(CAD)を作成する。

(6) 試験結果とりまとめ

各種試験結果から、劣化程度、損傷要因を推定し取りまとめを行う。

(7) データ整理・損傷図作成

現地調査により把握した損傷状況を整理するとともに、現況図面から損傷図を作成する。

3 コンクリート補修工(下部工)設計 1橋

(1) 対策工法の検討

対象施設の補修として適当な工法を抽出し、損傷要因、施工性、経済性などから総合的に判断し補修工法を決定する。

(2) 設計図作成

補修詳細図等を作成する。

(3) 数量計算

設計図を基に、土木工事数量算出要領に基づき数量を算出する。

(4) 照査

工法選定、設計図面、数量計算書の適正化・整合性について照査を行う。

(5) 報告書作成

下部工補修工設計に係る報告書のとりまとめを行う。

4 伸縮装置補修設計

(1) 応力計算

伸縮装置補修に係る設計計算を行う。

(2) 設計図作成

補修詳細図等を作成する。

(3) 数量計算

設計図を基に、土木工事数量算出要領に基づき数量を算出する。

(4) 照査

工法選定、設計図面、数量計算書の適正化・整合性について照査を行う。

(5) 報告書作成

伸縮装置補修設計に係る報告書のとりまとめを行う。

5 支承防錆設計 1橋

(1) 設計図作成

補修詳細図等を作成する。

(2) 数量計算

設計図を基に、土木工事数量算出要領に基づき数量を算出する。

(3) 照査

工法選定、設計図面、数量計算書の適正化・整合性について照査を行う。

(4) 報告書作成

支承防錆設計に係る報告書のとりまとめを行う。

6 施工計画 1橋

検討された工法により工事を実施するために必要な施工方法を立案する。

7 概算工事費の算定 1橋

算出した数量計算に基づき、概算工事費を算定する。

8 関係機関との協議資料作成 1橋

設計図書に基づき、関係機関との協議用資料・説明用資料を作成する。

9 詳細調査及び試験 1式

(1) 鉄筋探査

鉄筋のかぶり厚や位置、方向を調査する。

(2) コア採取・復旧

コンクリート試験を行う。

(3) 塩分含有量試験

塩分量を測定する。

(4) 中性化深さ試験

コア側面での中性化深さを計測する。

(5) 圧縮強度試験

反撥度法による強度を測定する。

特 記 仕 様 書

を行うものとする。

第8条 打合せ等

- 1 設計業務の打合せ（対面）は、業務着手時、中間打合せ1回及び成果品納入時の合計3回とし、管理技術者と調査職員が行うものとする。
 - （1）業務着手時
業務計画書を基に調査方法、調査内容、設計内容の打合せを行い、既存資料等の貸与を行う。
 - （2）中間打合せ
調査終了時及び設計終了時に調査結果及び設計結果の打合せを行う。
 - （3）成果品納入時
成果品の内容について打合せを行う。

第9条 報告書作成

- 1 本業務の検討結果をとりまとめ、報告書を作成する。
本報告書の作成部数は、A4版にて1部提出するものとする。また、電子媒体により2部納品するものとする。

第10条 ウィークリー・スタンスの実施等

- 1 受発注者間における仕事の進め方として、計画的な仕事の施工および設計業務等の履行を確保しつつ、非効率なやり方の工事現場および業務の環境等を改善し、より一層、魅力ある仕事、現場の創造に努めることとする。
 - （1）月曜日（休日明け）を依頼の期限日としない。
 - （2）ノー残業デーは勤務時間外の依頼はしない。
 - （3）金曜日（休日前）に依頼しない。
 - （4）打合せの開始時に終了時刻を定め、原則その時刻内に完了する。
 - （5）（業務時間外にかかるおそれのある）16時以降は、打合せ開始時間に設定しない。
 - （6）作業内容に見合った作業期間を確保する。
 - （7）業務時間外に応答が必要な連絡を行わない。
 - （8）その他、任意に設定する。
- 2 ウィークリー・スタンスは受発注者間の姿勢を示したものであり、現場等各種条件や企業方針、及び必要とする作業日数等の確保により曜日の変更等を行うことができる。緊急対応については、上記の限りではなく、受発注者が協力して臨機の対応

第3章 その他

第11条 その他

- 1 その他、疑義のある場合は、調査職員と協議するものとする。

委 託 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量設計費					
設計業務					
設計協議					
設計協議					明細表 第1号
	式	1			
橋梁設計					
【見積】設計計画					明細表 第2号
	式	1			
【見積】損傷個所の確認調査					明細表 第3号
	橋	1			
【見積】コンクリート補修工設計(下部工)					明細表 第4号
	橋	1			
【見積】伸縮装置補修設計					明細表 第5号
	橋	1			

委 託 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
【見積】 支承防錆設計					明細表 第6号
	橋	1			
【見積】 施工計画					明細表 第7号
	橋	1			
【見積】 概算工事費の算定					明細表 第8号
	橋	1			
【見積】 関係機関との協議資料作成					明細表 第9号
	橋	1			
直接経費					
直接経費					明細表 第10号
	式	1			
直接経費					
旅費交通費率分					
	式	1			
電子成果品作成費					
	式	1			
直接原価					

明細表 第 3号

【見積】 損傷個所の確認調査

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
【見積】 現地踏査					
	橋	1			
【見積】 資料収集・整理					
	橋	1			
【見積】 損傷確認					
	橋	1			
【見積】 形状寸法測定					
	橋	1			
【見積】 現況図面の作成					
	橋	1			
【見積】 試験結果のとりまとめ					
	橋	1			
【見積】 データ整理・損傷図作成					
	橋	1			
1 橋 当り					

明細表 第 4号

【見積】コンクリート補習工設計(下部工)

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
【見積】対策工法の検討					
	橋	1			
【見積】設計図作成					
	橋	1			
【見積】数量計算					
	橋	1			
【見積】照査					
	橋	1			
【見積】報告書作成					
	橋	1			
1 橋 当り					

明細表 第 5号

【見積】伸縮装置補修設計

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
【見積】設計図作成					
	橋	1			
【見積】数量計算					
	橋	1			
【見積】照査					
	橋	1			
【見積】報告書作成					
	橋	1			
1 橋 当り					

明細表 第 6号
 【見積】 支承防錆設計

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
【見積】 設計図作成					
	橋	1			
【見積】 数量計算					
	橋	1			
【見積】 照査					
	橋	1			
【見積】 報告書作成					
	橋	1			
1 橋 当り					

明細表 第 10号
直接経費

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
【見積】鉄筋探査 レーダー法					
	箇所	1			
【見積】コア採取・復旧					
	本	1			
【見積】塩分含有量試験 5スライス					
	本	1			
【見積】中性深さ試験					
	本	1			
【見積】圧縮強度試験					
	箇所	1			
橋梁点検車 BT-200同等 長期割引なし、					
	日	1.4			
交通誘導警備員 交通誘導警備員B					
	人				
1 式 当り					